

人格の心理学

責 任 者 : 田中 潜次郎 教授

担当講座 (科) : 心理学科

講 義 21 時間

単 位 1 単位

学 年

1 学年 後期

学習方針

基本理念 :

人格 (パーソナリティ) の心理学は、個人差に着目する差異心理学から発展したものであり、各種の心理検査を開発する母胎の役割を果たした分野である。現在では、心理療法やカウンセリングなど臨床分野を支える基礎領域として重要な位置を占めている。

一般目標 (GIO) :

講義で主にとりあげる主題は、知能と性格である。これらの概念と理論、検査と係数について理解を深めると共に、代表的な検査に直接ふれることにより具体的な認識を得る。

到達目標 (SBOs) :

1. 知能の発達における遺伝と環境の関係について説明できる。
2. 知能検査の発展過程を述べることができる。
3. 知能を表す係数の変遷を説明できる。
4. 性格類型論と性格特性論の代表例をあげ、各々の特徴を説明できる。
5. MMP I と Y-G の特徴を説明できる。
6. ロールシャッハ法について説明できる。
7. 信頼性と妥当性の意味を説明できる。
8. 欲求とフラストレーションについて基本知識を得る。
9. 自我防衛について代表的な例をあげて説明できる。

講義日程

受講者を 2 グループに分け、クラス 1 は火曜日 2 時限目、クラス 2 は金曜日 1 時限目に授業を行う。

クラス	月日	曜	時限	講座 (科) 名	担 当 者	内 容
1	10/ 7	火	2	心 理 学 科	田中 潜次郎 教授	心理テスト実習
2	9/19	金	1			実際の心理テストを受け、結果を集計してテストの実際を体験する。

クラス	月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
1	10/21	火	2	心理学科	田中 潜次郎 教授	試験と検査の基礎理論 心理テストと学力試験の性質を理解する。
2	10/10	金	1			
1	10/28	火	2	"	"	知能の心理学(1) 知能を定義できる。
2	10/17	金	1			
1	11/ 4	火	2	"	"	知能の心理学(2) 知能検査を理解する。
2	10/24	金	1			
1	11/11	火	2	"	"	知能の心理学(3) 知能をあらわす係数を理解する。
2	10/31	金	1			
1	11/18	火	2	"	"	知能の心理学(4) 知能の理論を理解する。
2	11/ 7	金	1			
1	11/25	火	2	"	"	知能の心理学(5) 知能の規定要因の研究法を理解する。
2	11/14	金	1			
1	12/ 2	火	2	"	"	性格の心理学(1) 性格の概念と理論を理解する。
2	11/21	金	1			
1	12/ 9	火	2	"	"	性格の心理学(2) 人格質問紙法の特徴と使用法を理解する。
2	11/28	金	1			
1	12/16	火	2	"	"	性格の心理学(3) 投影法の特徴と主要な方法を理解する。
2	12/ 5	金	1			
1	1/ 6	火	2	"	"	性格の心理学(4) 心理学で使われる尺度の種類と、検査の充足条件を理解する。
2	12/12	金	1			
1	1/13	火	2	"	"	欲求とフラストレーション(1) 行動の内部要因としての欲求のはたらきを理解する。
2	12/19	金	1			
1	1/20	火	2	"	"	欲求とフラストレーション(2) フラストレーション(欲求不満)を説明できる。
2	1/ 9	金	1			
1	1/27	火	2	"	"	欲求とフラストレーション(3) 自我の防衛機制を理解する。
2	1/16	金	1			

教科書（教）・参考文献（参）・推奨図書（推）

	書名	著者名	発行所	発行年
教	性格心理学への招待	詫摩 武俊 他	サイエンス社	2003

成績評価方法

試験の成績を85%、出席を15%として評価する。

オフィスアワー一覧

授業を担当する専任教員氏名	方式	曜	時間帯	備考
心理学科 田中 潜次郎	B-i	月～金	9:00～17:00	